

ATF Automatic Transmission Fluid **COOLER**

“BLITZ” means the ability to progress, every performance parameter of the motor-car. Established in 1980 “BLITZ” has developed and evolved automotive.

取 付 説 明 書

JZS161

(前置き I/C 取付車専用 KIT)

(純正 I/C 装着車取付不可)

BLITZ

目次

① はじめに	1
② 安全上のご注意	1
③ 取付前後の注意事項	2
④ 構成部品及び付属品リスト	3
⑤ A T F の取付に際して	4
⑥ A T F クーラー取付手順	5
⑦ 取付後の確認	8
⑧ メンテナンス	9
⑨ 故障と思う前に	9

① はじめに

- この度は弊社商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
- この取り扱い説明書には製品を使用する際と装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになって正しくお使いください。
- 本書はいつでも取り出して読めるように車内に大切に保管してください。
- 取り扱い説明書は、必ず使用者にお渡しください。
- 注意事項および使用上の注意は必ず守って使用してください。
- 装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えると装着不良や動作不良で故障の原因になる場合がありますので注意して下さい。
- あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使い頂く為に守って頂きたい事項を示しています。本文中の内容をよく理解してから作業を行ってください。
- 装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- この製品および付属品は、改良のため予告なく変更することがあります。

② 安全上のご注意

この取り扱い説明書には製品を使用する際と装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになって正しくお使いください。

警 告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

- 換気の良い場所で取付作業を行ってください。
- 換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。
- この製品および付属品はしっかりと固定し、運転の妨げになる場所・不安定な場所に取付ないでください。運転に支障をきたし、事故の原因になります。
- バッテリーのマイナス端子をはずしてから、取付作業を行ってください。ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取りはずしてください。ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- この製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社までお問い合わせください。そのまま使用すると、車両の故障や破損の原因となります。

- この製品の取付時に、エンジンルーム内や車両下面の電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・駆動系・車両の破損の原因となります。

注 意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。

- この製品の取付は、必ず専門業者に依頼してください。取付には専門の知識と技術が必要です。
- この製品を装着前に落下させたり、装着時に無理な力を加えないでください。作動不良や空気漏れの原因になる場合があります。
- この製品の加工・改造は行わないでください。事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。エンジン本体、ラジエター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
- 定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。
- この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件などにより、耐久性が落ちたり、動作不良を起こしたりする事があります。
- 取付作業のために一時的に取りはずす純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。
- 当社は取付作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ボルト・ナット類は、適切な工具で確実に締め付けてください。必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。

③ 取付前後の注意事項

- 製品および関連部品の取付はフロントバンパー等の脱着作業に伴い、専門の知識、加工技術、特殊工具が必要です。取付は必ず専門店で行ってください。
- 適合車種以外の車両への取付は絶対に行わないでください。
- 製品取付後、車両に異常を感じた場合は走行中を問わずただちに運転を中止し、エンジンを停止してください。異常が発生したまま運転を継続しないでください。

注 意

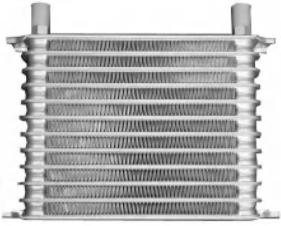
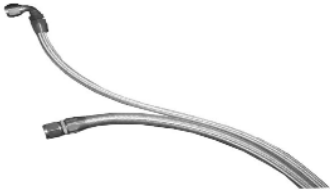
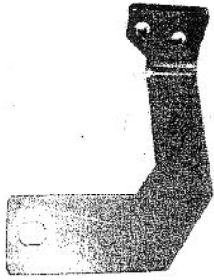
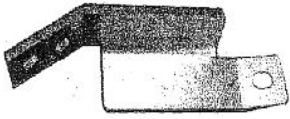
パーツリスト以外の部品を使用した為に発生した不具合、事故、破損等につきましては、当社は一切責任を負いません。指示のない部品は、必ず自動車メーカーの該当する純正部品をご使用ください。

製品の改造、加工は絶対に行わないでください。この事により発生した不具合、事故、破損等につきましては、当社は一切の責任を負いません。

警 告

この部品は競技用特殊部品につき、クレーム返品には応じかねます。また、仕様・価格、その他の変更は予告なく行うことがあります。

④ 構成部品及び付属品リスト

 ATF クーラー コア 1 個	 ホース #10 150° - 500mm 1 個 150° - 660mm 1 個 注) 写真とフィッティング角度は異なります。	 コルゲート チューブ 1000mm
 ステーNO, 1 1 個	 ステーNO, 2 1 個	 ステーNO, 3 1 個
 トライドン 大 2 個 トライドン 小 2 個	 異形パイプφ10-14.3 2 個	 タイラップ 5 本
 φ9 ゴムキャップ 2 個	 ワッヅ 付きM6 ボルト 9 個 ワッヅ 付きM6 ナット 6 個	 取り扱い説明書 1 個

⑤ ATFクーラーの取付に際して

ブリッツ・ATFクーラー・キットは、指定された車種以外には取付ないでください。取付は弊社の指示に従ってください。

また、指示の無いものに関しては各自動車メーカーの整備書等をご参照ください。

ブリッツ・ATFクーラー・キットの取付を行う場合、コア、ホース容積分と交換作業で減る分のATFオイルが必要になります。キット交換後は、油量を適量まで入れてください。

油量の点検はレベルゲージで行います。ゲージにはH（ホット）とC（クール）の面がありますが油温60℃以上の場合はH側のゲージで行ってください。またATFを入れ過ぎますと、ギアによりATFが攪拌（かくはん）されて泡立ってしまい作動不良を起こします。点検は平地で行ってください。

走行距離6万キロを越す車両で、ATFを無交換で走行した車両は、AT内に多量の汚れが堆積していることが多く、清浄性の高い新油に交換しますとライン、弁などの目詰まりの原因になることがありますので、注意して下さい。

ブリッツ・ATFクーラー・キットの取付を行う際に、ホース、コアにホコリや水、ゴミ等が混入しないよう気をつけて作業を行ってください。目詰まり等を引き起こし作動不良の原因になります。

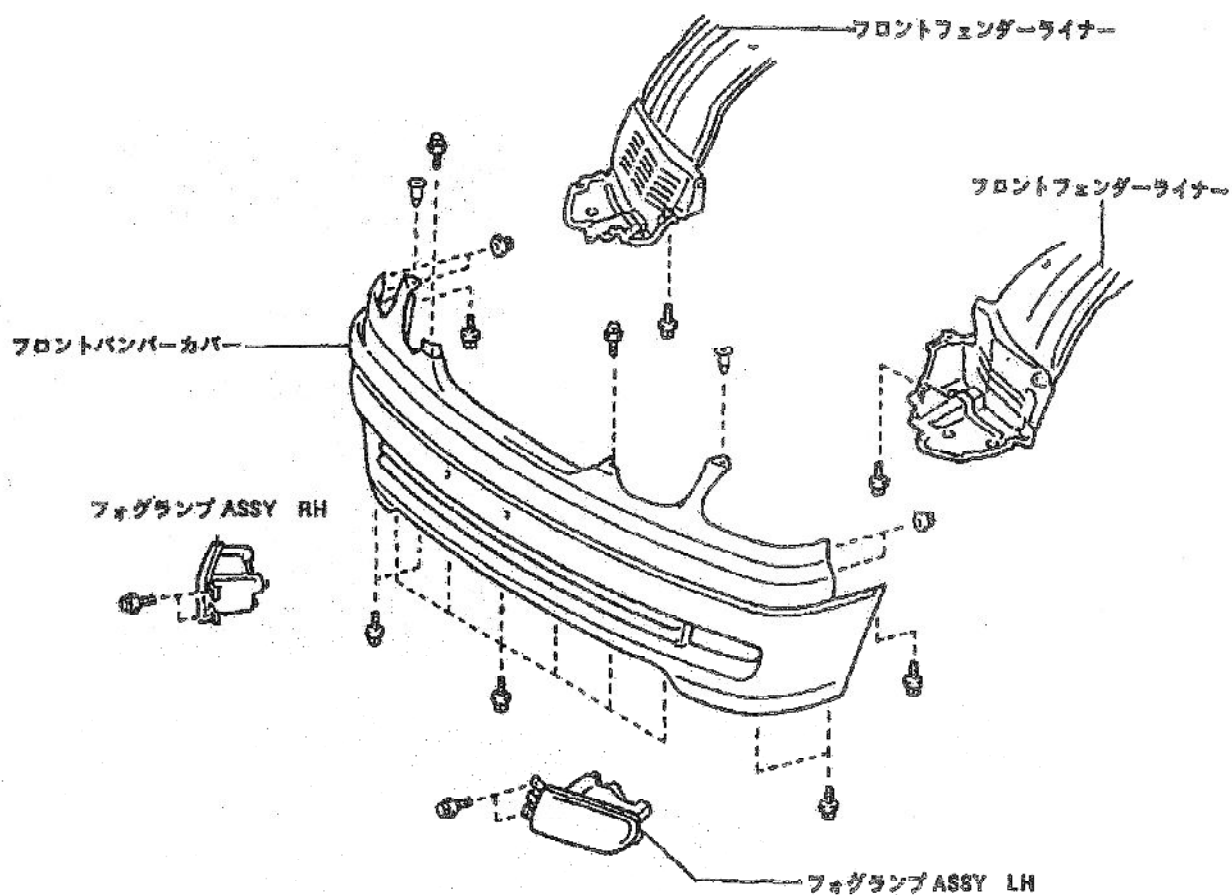
警 告

取付を行う前に必ず本書をよく読んでから作業に入ってください。

- 作業のため、一時的に外す部品は充分注意して保管してください。特に汚れを嫌う部品および箇所についてはゴミ・ホコリ等に注意してください。
- 配線用カプラー・コネクタは破損・断線に注意して取り外し、保管してください。
- 一時的に外す部品は、間違っ取付ないようマーキング等をしておいてください。
電気ショートによるトラブルを避けるため、必ずバッテリーのマイナス端子を外してから作業を始めてください。
- ガレージジャッキ、リジットラック、リフト等は所定の場所に確実に掛けてください。
取付後の点検は必ず行ってください。

⑥ ATFクーラー取付手順

1 フロントバンパー脱着

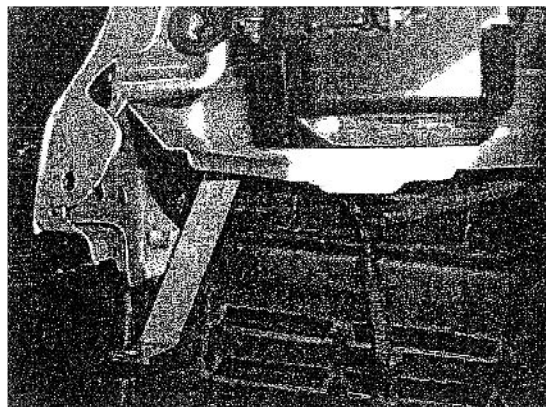


上記図のフロントバンパー脱着構成図を参考にフロントバンパーを取りはずし、フロントフェンダーライナーは遊ばしておいて下さい。
フォグランプ装着車は脱着の際、配線にキズ等をつけないよう注意して下さい。
フロントバンパー脱着の際、フロントバンパー、ボディにキズをつけないよう注意して作業を行ってください。

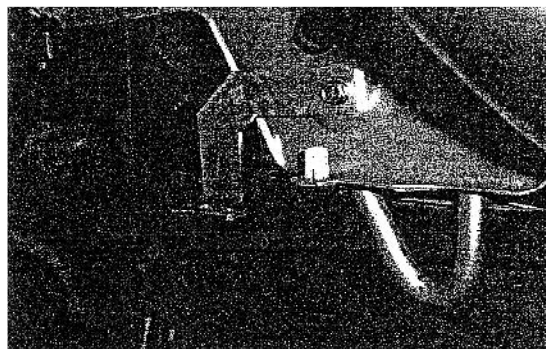
ATFクーラー コア取付

ATFクーラー コアステー取付

- (A) フォグランプ配線と純正インタークーラーステーをはずし、右写真のようにフレーム裏側に付属のM6 ボルトで、NO, 1 ステーを仮止めしてください。



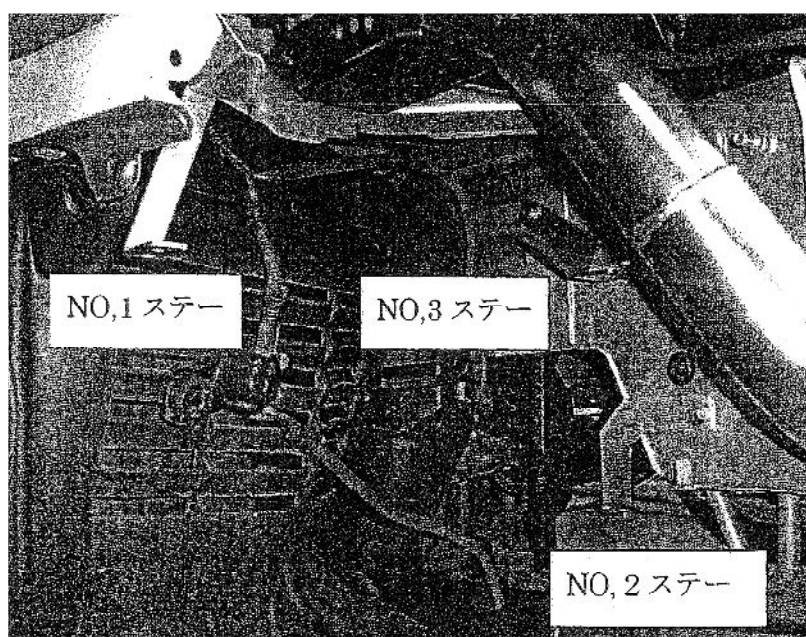
- (B) 純正インタークーラーステーをはずし NO, 2 ステーを右写真の位置に付属のM6 ボルトで仮止めしてください。



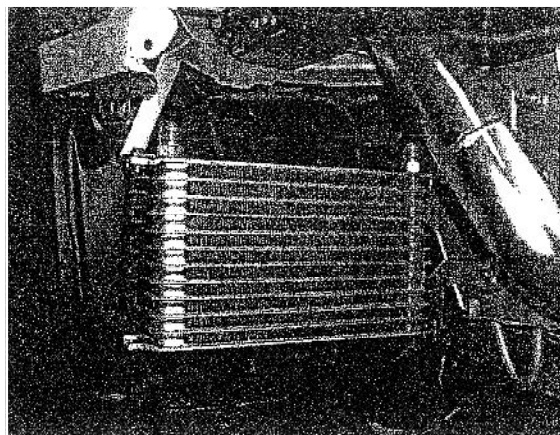
- (C) 純正インタークーラーステーをはずし NO, 3 ステーを右写真の位置に付属のM6 ボルトで仮止めしてください。



- (D) 右側フェンダー内に右写真のように取り付きます。

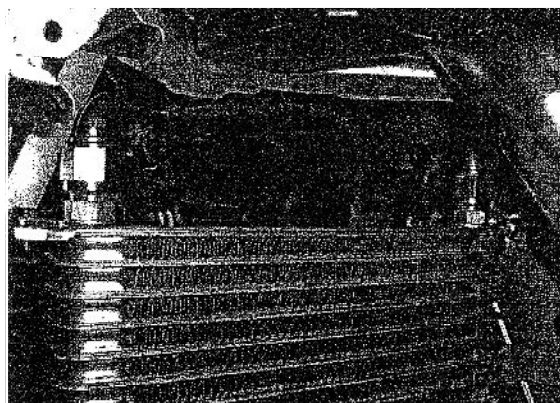


- (E) ATFクーラーを右図の向きでステーに合わせ、付属のM6ボルト、ナット各6個で仮止めし、ボディに対して水平に合わせた後ステー、コア部の各ボルトを締付け固定して下さい。その際、ボディに干渉しないよう注意して下さい。



ステンメッシュホース取付

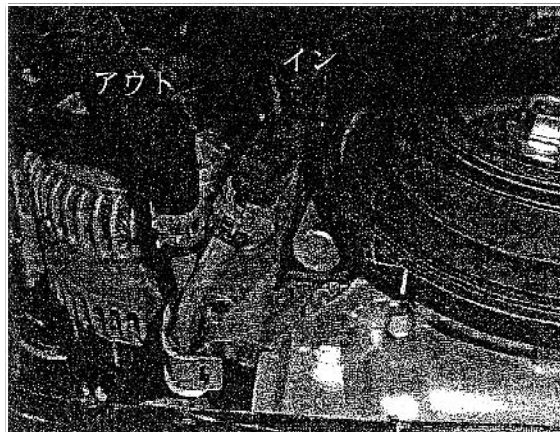
- (A) 付属のステンメッシュホースを右写真のようにコア裏側を通してフィッティングを締付けてください。この時、フィッティングネジ部には、オイルを少量、塗ってください。カジリ防止のためです。



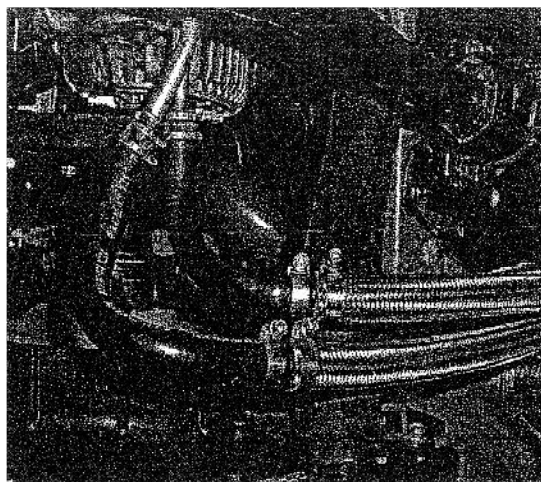
- (B) ATミッションからラジエーター下部へ通っていますゴムホースをラジエーター下部側からはずし、ラジエーター下部側にφ9ゴムキャップでプラグをして下さい。ホースをはずす際、ATFが流れ出ます。注意して作業を行ってください。



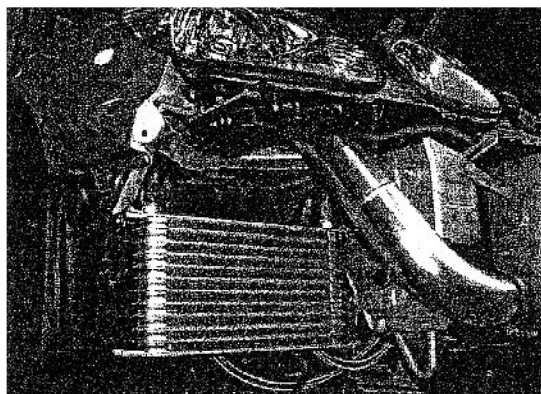
- (C) イン側のホースバンドクリップを一旦緩め、ATFクーラー コア側に回して向けてください。ステンメッシュホースエンドに合わせてゴムホースをカットしてください。



(D) 異形パイプを使用し、純正ゴムホース側にφ10、ステンメッシュホース側にφ14を挿し込み、トライドンバンドで各々締付けて連結してください。もう一方も同じように連結してください。なお、ステンメッシュホースの切れ目のメッシュ部は手に刺さりますので注意して作業を行ってください。またホース連結はどちらのホースでも構いません。

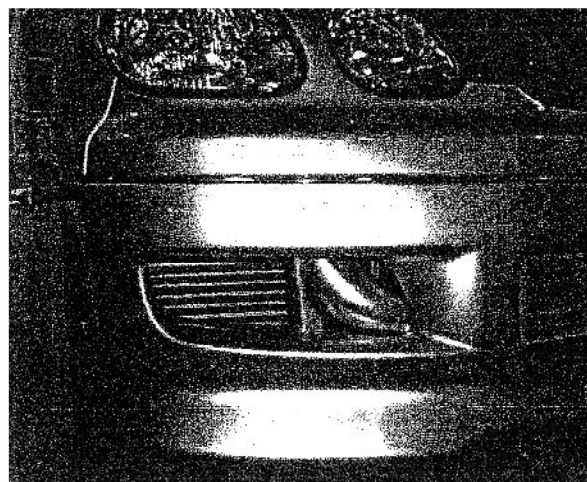


(E) ステンメッシュホースをボディーにタイラップ等で固定し、遊びのないようにして下さい。この際ステンメッシュホースが、ボディー、配管、配線等に接触している場合は接触部にコルゲートチューブを巻き、タイラップで固定して下さい。



フロントバンパー取付

(A) フロントバンパーを取りはずしと逆の手順で取付して下さい。その際に、コア、ステンメッシュホースがフロントバンパーに干渉しないよう確認し、取付てください。ステンメッシュホースにコア、ステー、フロントフェンダーライナーが当たり、取付できない場合には、接触している部分のフェンダーライナーをカットしてください。



エンジン始動前の確認

- (A) エンジン始動前にもう一度パイプ、ホース、配管及び配線に間違いがないか確認して下さい。
- (B) ボルト、ナット類の締め忘れがないか確認して下さい。

⑦ 取付後の確認

油量を適量まで入れてください。

- (A) 油量の点検はレベルゲージで行います。ゲージにはH（ホット）とC（クール）

の面がありますが油温70℃以上の場合はH側のゲージで行ってください。またATFを入れ過ぎますと、ギアによりATFが攪拌（かくはん）されて泡立ってしまい作動不良を起こします。注意して下さい。点検は平地で行ってください。

(B) ATFを注入後、ブレーキペダルを踏み、エンジンを始動させます。アイドリング回転状態でシフトレバーをPからLまでの各レンジにゆっくりシフトした後、Pレンジに戻してください。その後、Pレンジ、アイドル回転状態でレベルゲージを抜き、ウェスなどでオイルを拭き取り、再度挿入してオイルがレベルゲージの[HOT]の範囲にある事を確認して下さい。

(C) Pレンジ3000回転で30秒ほど回し、ホース連結部、クーラーホース部からオイルの漏れ、にじみのないことを確認して下さい。

⑧ 故障と思う前に

- 部品は正常に、しっかりと取付られているか確認して下さい。取付が不十分な場合には、動作不良の原因となります。
- ホース、フィッティング、コア取付部からATFが漏れていないか確認して下さい。ATFが漏れている場合には動作不良の原因となります。最悪の場合はオートマトランスミッションが動作しなくなり危険ですから、至急修理して下さい。

⑨ メンテナンス

- 本製品はノーマル車以上に冷すことを目的に作られています。市街地走行で約10°前後、高速域で約15°温度上昇を抑えられますが、走り方、負荷のかけ方で、許容を超えて温度上昇してしまう場合が考えられます。一般的なATFは120°を越えた辺りから、オイルが変化しはじめます。一度変化しはじめたオイルは冷しても、元に戻ることはないので、ATFの交換をおすすめします。
- スポーツ走行する場合は、フログをはずして、より風がコアに当たるようにして下さい。
- 近年ではFF車が多く普及してきたため、ATFはミッションオイルとデフオイルの役割を果たさなければならなくなってきました。負担も増え、時間が経過しますと、酸化劣化し、スラッジ等を発生させる可能性も出てきます。10000km～20000kmでのATF交換をおすすめします。



製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせ連絡は、お電話またはFAXにて下記宛にお願いします。

■連絡先：（株）ブリッツ

■TEL：0422-60-2277

■住 所：東京都西東京市新町4-7-6

■FAX：0422-60-0066